



シルバー人材センター通信

平成25年

第29号

1月25日発行

みなみえちぜん

迎春



糠 水仙畑

発行・編集：公益社団法人 南越前町シルバー人材センター広報委員会

住 所：福井県南条郡南越前町今庄第84号24番地の1

TEL.0778-45-1102 FAX.0778-45-1851

E-mail : minamiechizen@sjc.ne.jp URL : <http://www.sjc.ne.jp/minamiechizen/>

会員の状況 [12月末現在]

総会員数 295名

男性会員 140名

女性会員 155名

「安全は 一声かける 中とりから」



新年のごあいさつ

理事長 嶋崎 洋

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝にて新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、当シルバー人材センターの事業運営に多大のご支援、ご協力を頂きありがとうございます。

さて、南越前町においては三人に一人が六十五才以上の高齢者となっております。平素は、当シルバー人材センターの事業運営に多大のご支援、ご協力を頂きありがとうございます。さて、南越前町においては三人に一人が六十五才以上の高齢者となっております。平素は、当シルバー人材センターの事業運営に多大のご支援、ご協力を頂きありがとうございます。



新年のご挨拶

南越前町長 川野 順万

新年、あけましておめでとうございます。

皆様にとって、本年が健やかで希望に満ちた一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

私が、町政を担わせて戴き、早や四年の任期が終わろうとしております。この間各種事業を始め、町政全般にわたり暖かいご支援とご協力を賜りましたこと、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、わが国は人口減少社会に突入し、本格的な高齢者社会を迎えております。こうしたなか、活力ある地域社会を維持していくには、高齢者の方々が社会の支え手として元気に生きがいを持って活躍して頂くことが必要であり、高齢期の多様なニーズの受け皿としてシルバー人材センターが担う役割はますます

在は重要なものとなっております。しかしながら国の事業仕訳の対象となり大幅な補助金の削減を受け、又、長引く景気の低迷、適正就業の推進、民間の受注の減少等非常に厳しい状況であります。適正就業の推進、民間の受注の減少等非常に厳しい状況であります。適正就業の推進、民間の受注の減少等非常に厳しい状況であります。適正就業の推進、民間の受注の減少等非常に厳しい状況であります。

す重要になってまいります。

南越前町シルバー人材センターとして発足9年目を迎えました。この間、公益社団法人への移行や、会員数、契約金も年々増加し今では、三百人余りの会員が活躍されています。今後とも時代の要請に的確に対応し、地域に根ざした積極的な事業展開を期待しております。また、今日においても、わが国の経済状況は厳しさを増し、行く末は混沌としておりますが、シルバー人材センターの「自主・自立・共働・共助」の旗じるしのもとに、高齢者が意欲と能力がある限り年齢に関わりなくいきいきと働くことができる社会を構築していくことが重要であるとの考えから「生涯現役社会実現事業」(仮称)の創設などが打ち出されたと聞いております。その一翼を担う事業への期待は大きく、存在は重要で、会員の豊かな経験と知識を受託拡大と地域の高齢者交流活動拠点になればと思っております。

結びに、シルバー人材センターのますますの発展と皆様のご健勝ご活躍を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

- 理事長 嶋崎 洋
- 副理事長 上島 信敬
- 理事 飯田 春樹
- 理事 勝見 勝彦
- 理事 杉本 佳子
- 理事 田中せつ子
- 理事 寺尾 達雄
- 理事 堂下富美子
- 理事 中野 利雄
- 理事 橋本 登龍
- 理事 藤井彦四郎
- 理事 山寺 幸雄
- 行政担当理事 津田 尚弘
- 監事 安川清太郎
- 監事 山本 雄治
- 常務理事兼事務局長 井上 英之
- 事務局職員 海岸 満
- 理事 関 洋子
- 理事 山本 和美

本年も何とぞよろしく
お願いいたします

企画提案型事業

社中央保育園児との体験交流会

11/21

昨年より、わら草履の提供がご縁で交流が始まり今回の体験交流となりました。会員4名が園児にわら草履が出来るまでの工程を、身振り、手振りでご実演。可愛い小さな手でわら打ち、縄ない、草履づくりに精を出し、楽しい雰囲気の中で交流を深めました。

最後に園児から可愛い歌や踊りの披露、手作りの感謝状とレイを頂き、参加した会員も楽しい一日でした。

これからも、この様な伝承技術を通じた体験交流会を実施して行きたいです。



生け花は、鑑賞的なものと供花の二方面があり、私たちの身近な存在として、時代の流れを強く受けながら、発展をみせ供花の要素を基本に今の様式が出来上がりました。

立華が上野に導入されたのは、安政の頃、笛吹弥治右衛門がわらじばきで、京都の池坊六角堂へ通い立華の技巧を学んだことに始まります。彼が写生した立華の図は、今も桂木重右衛門宅に大切に保存されており、明治に入ってから、徳正寺の先代藤法真立師や先代真教師が華を立てられました。特に先住真教師は檀家の人々を従えて山野を駆け巡り、材料を集めてくると、華を立て、心ある人達に教えました。弥治右衛門氏とその孫が立華に打ち込まれ、周辺の心ある人達によく指導され、上野の古典立華の幕開けとなったわけです。その頃から、華会を催して「上野華道奨励会」と名付けられました。

毎年二月の中旬、池坊家元の七夕会にあやかっつて、会員らは華会を催して来ました。徳正寺の先住真教師は、県の会頭の職にあつたので、上野古典立華の水準は、かなり高く評価されていました。

県内各地から、優雅な古典立華を鑑賞しようと、多くの方々が会場へ見えられ、年々盛大になってきております。

華会が近づくと、会員らは、空を向いて歩きながら、あの木にはこんな枝がある等と確認しておくという事です。

毎年、新しい幹作りをしなければなりません。華会に出品すると一晩、みんなで膝を抱えながら、お互いにかなり厳しい批判を飛び交わせます。それもまた楽しみの一つであると言われています。

両案むかしはなしより



上野 古典立華

「香り高い文化遺産に恵まれて
伝統の火をともし続ける町、上野」

新入会員のご紹介

- 上野 笛吹 彦司さん
- 今庄 京藤 弘子さん
- 赤萩 竹内 文枝さん
- 牧谷 関 美千子さん

【10月から12月までの加入者】

よろしくお願
いたします。



平成25年度 シルバー人材センター運営方針 「元気よく」「楽しく」「仲よく」 で取り組みます！



お知らせ

INFORMATION

第三回会員のつどい開催

会員の交流を目的に左記の日程で開催いたします。

●開催日時 平成25年2月15日(金)

午前10時より午後2時まで

●開催場所

南条保健福祉センター2階ホール

●開催内容 楽しくゲーム

ミニ運動会

手作りお弁当昼食

●実行委員会メンバー(敬称略)

《南条地区》

勝見弥五兵衛・清水静江・山口さよ子

《今庄地区》

西山仁徳・赤田まさる・四ツ木善一

《河野地区》

川端 等・加茂さん

以上8名の委員



理事会報告

第4回理事会(10月26日開催)

審議事項

- ① 会員の入会承認について
- ② 平成24年度9月末事業実績及び監査報告について
- ③ 事務規定の一部変更について
- ④ 平成24年度事業予算の補正について
- ⑤ 平成25年度公共・公社配分金単価について

報告事項

- ① 委員会報告(安全・広報)
- ② シルバーフェスタ経過報告
- ③ ボランティア活動経過報告
- ④ 企画提案型事業の進捗について

第5回理事会(12月13日開催)

審議事項

- ① 会員の入会承認について
- ② 平成25年度事業計画について
- ③ 平成25年度行事計画について
- ④ 地区理事会の開催について

報告事項

- ① 委員会報告(安全・広報)
- ② 平成24年度10月末事業実績について
- ③ 健康教室実施報告について

編集後記

あけましておめでとうございます。

私の年末の関心事の一つに、一年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」があります。昨年は「金」に決まりました。金環日食やオリンピックのメダルラッシュ等を反映したようです。

揮毫した清水寺の森清範貫主は「震災で大変つらい思いしている中、一筋の光明を見つけて頑張っているという多くの人々の気概を感じた」とその感想を述べておられました。

会員の皆さんが、日々額に汗して働くその「気概」が、健康長寿社会を築き、地域社会の発展に大きく貢献しているものと思います。私も会員の一人として、「何事も気概を持って頑張らなければ」と森貫主の言葉を思い浮かべながら、自身に言い聞かせました。

私は、金ぴかのゴールドより、燦し銀の「シルバー」が好きです。

今年も広報誌のご愛読よろしくお願
い致します。

(広報委員 板本 洋子)

